

〈散歩のおやつ〉

朝の散歩コースをちょっと変えてみたら、野イチゴがどっさり見つかった。多分クサイチゴかと思うのだが。クサがつくが草ではなくれっきとした低木だ。歩道脇にたくさん生っているが、“こんなところにあるイチゴは食べられるはずがない、いや多分こいつはヘビイチゴかもしれない”と思い込んでいる人が多いのだろう、だれも取らない。だから食べ放題だ。黄色いモミジイチゴは“食べられる”と知っている人が多くすぐに取りられてしまうが、クサイチゴは見過ごされている野イチゴで、ほとんど手つかず状態。畑のイチゴと比べたら甘みも酸味も劣るが、人の手で何代にもわたって改良された人工イチゴではない野生の味がして、散歩途中で食べるにはおあつらえ向きのおやつだ。これから夏に向かっていろいろな野生の実が生ってくる。リュックの中にコンビニで買ったおやつはなくても町はずれの歩道や山道を歩けば食べられる実がいろいろ見つかる。ヒョイトつまんで口に入れて自然の味を楽しむ。たまに酸っぱいものや苦いものがあったてもご愛敬、次に甘いものが見つかれば美味しさは倍増する。自然の恵みをいただく幸せ、“生かされている”と感じる瞬間だ。

